

OUJ神奈川学習センター なつだより

通巻第59号

2014年7月25日発行

発行:放送大学神奈川学習センター

〒232-0061 横浜市南区大岡2-31-1

tel:045-710-1910 fax:045-710-1914



「日本丸と横浜みなと博物館」(2面に関連記事)
写真提供:公益財団法人 帆船日本丸記念財団

神奈川(みなとみらい)



目次	「帆船日本丸」に思う	角 洋一 客員教授	2~4
	面接授業「イメージを用いた心理療法」「発酵文化の知恵ー食生活と微生物」「生涯学習と参加型学習」		5~7
	学習センターニュース(杉田客員教授講演会ほか)		8
	Kーサポートからのお知らせ/研究会等のご案内		9
	学生サークルからのお知らせ/神奈川同窓会だより/神奈川学習センター祭のお知らせ		10~11
	学習センターからのお知らせ		12

「帆船日本丸」に思う

放送大学神奈川学習センター客員教授 角 洋一

はじめに

6月半ば、本誌編集会議から「例年「なつだより」の表紙写真と巻頭記事は、海に関するものなので、よろしく」との依頼を受けました。今年4月に本センターの客員教授に着任したばかりで、まだ放送大学の学生さんたちに面接授業などで直接接する機会が有りませんが、4月6日の入学者の集いには、20歳代から80歳代に至る幅広い年齢層の方々が300名以上出席されており、そのエネルギーには感じるものが有りましたし、私のバックグラウンドは、学問分野で言えば「船舶海洋工学」、世の中で「造船」と言われる分野なので、このご依頼をお引き受けすることにしました。そこで、7月20日の「海の日」にちなんで、みなとみらい地区のドックに係留され、近々進水から85周年を迎える帆船「日本丸」の写真を表紙に「日本丸」とその保存に関連する話題について述べたいと思います。

帆船日本丸

昭和の初期、船員を養成するための学校「東京高等商船学校」と「神戸高等商船学校」は専属の練習船を所有していましたが、他の公立商船学校の練習船は小型で、また海難事故も相次いだため、共通の大型練習船を2隻建造することになりました。設計はスコットランドのラメージ・エンド・ファーガソン社、建造は神戸の川崎造船所(現川崎重

工業)で、1930年1月に進水した第1船が「日本丸」、同年2月に進水した姉妹船が「海王丸」です。太平洋を中心に航海訓練に従事していましたが、太平洋戦争が激化した1943年に帆装が取り外され、国内で石炭輸送任務などに従事した後、戦後は復員船として25,428人の引揚者の帰国輸送に従事しました。1950年に勃発した朝鮮戦争では米軍人や韓国人避難民の輸送といった特殊輸送任務も行っています。1952年、ようやく航海訓練所の練習船として浦賀船渠浦賀造船所において帆装の再取り付けがなされ、翌年春に戦後初の遠洋航海を行い、戦後の外航船員養成のシンボルとして、1984年退役までの54年間に、約183万kmを航海し、約11,500名の実習生を育てました。その後、練習帆船としての役割は2代目の日本丸と海王丸が担っています。

「日本丸」の退役後、10都市(横浜、神戸、大阪、小樽、船橋、新湊、清水、豊橋、福岡、鹿児島)からの保存誘致要請が行われましたが、その中で、横浜市が掲げた活用計画と、約83万人の市民の署名により保存地が横浜に決定しました。現在、旧横浜船渠(現三菱重工業)第一号ドック(国指定重要文化財)に係留保存され、公開されるとともに、青少年のための海洋教室、登檣、操帆、海技の体験、独立行政法人航海訓練所の協力のもと訓練を受けた市民による総帆展帆も行っています。また、ドックの周囲は横浜市の「日本丸メモリアルパーク」として市民の憩いの場となっています。ちなみに、本船の主要諸元は以下の



写真1 100年保存を目指す「日本丸」



写真2 「日本丸」のリベット(鋌)継手

通りです。

船種	4檣バーク型帆船	総トン数	2278トン	
全長	97 m	全幅	13 m	
吃水	5.3 m	メインマスト高	46 m	
	総帆数	29枚	定員	138名

その他：ディーゼル機関による機走も可能、また構造は、現在の船が溶接構造であるのに対して本船はリベット（鉚）接合構造で、船体表面に規則的なリベット列を見ることができます（写真1、写真2）。

船の寿命

「日本丸」は、来年に就役85年を迎えますが、横浜市は、当面100年間の保存を目標にメンテナンスを行っています。さて、船の寿命はどれくらいでしょうか？私の専門は、船体構造の耐久性（durability）に関する分野なので、この側面も含めて寿命ということを考えてみたいと思います。大別して寿命には経済寿命と構造寿命という2つの異なる概念があります。ちょっと保存船の話からわき道に逸れますが、経済寿命の話に先ず触れたいと思います。船舶の使用期間をN年間とすると1年当りの建造コストは（建造費総額）÷Nとなり、当然のことながら長く使えば逡減します。一方、長期間使用するとメンテナンス費用などを含む毎年の運航コストは、老朽化に伴い漸増すると考えられますから、これらの和

$(1年当りの総コスト) = (建造コスト) / N + (運航コスト)$
 が最小になる使用期間が、最も経済性が高いと考えられ、これが経済寿命と呼ばれています（図1参

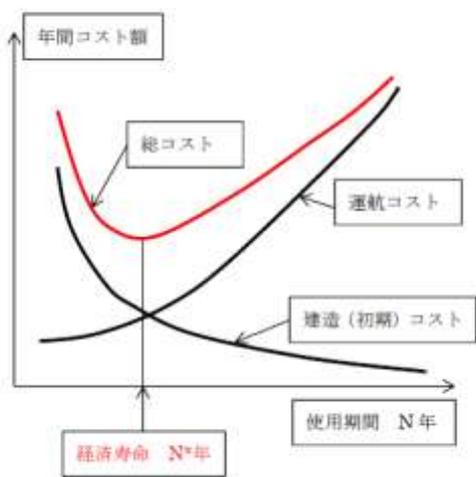


図1 1年当たりの平均総コストと経済寿命

照)。

国際航海に従事する日本の一般商船が、新造から10数年で転売されることが多いのは、極めて厳しい国際競争の中で、海運会社は基本的にはこのような経済原則に基づいた考え方で船を使用しているからだと思います。

また、最近の燃費高騰の中で、飛躍的な省エネルギー技術の実現は、二酸化炭素の排出削減効果と相まって、古い船を経済的にも環境調和の観点からも陳腐化させる効果をもたらしています。よく知られているように、これが、現在も日本造船業の国際競争力の源泉の一つとなっていますが、この例からもわかるように技術革新は、既存船の経済寿命に密接に関係していることがわかつています。

さて、それでは「日本丸」は半世紀以上もなぜ使用できたのでしょうか？このような事例は、商業ベースの寿命管理が当てはまらない練習船、官庁船、艦艇などには、よく見られます。適切なメンテナンスを行えば、船としての機能は、いわゆる「経済寿命」を超えて発揮できるわけです。そこで問題になるのが、「構造寿命」(耐久性)です。船の耐久性を考える際に考慮すべき現象として「疲労」と「腐食」があります。

疲労とは、船体に繰返し加えられる力によって、局部的に変形が集中する部分に微細な亀裂が発生し、それが徐々に成長し、最終的に船体構造を破壊するような損傷様式です。船の場合、船に繰返し加えられる力は、波によるものであり、その繰返し数は船の一生の間に1億回のオーダーになります(平均の波周期を5~10秒として25年間を考えてみてください)。

一方、腐食は、海水環境下の鋼構造で特に空気と海水に交互に接する部分、高温にさらされる部分の鋼板で進行が速いことが知られています。このことを考慮して、鋼船では一般に腐食による衰耗に対応した2~3mm程度の腐食予備厚(実際に強度計算上必要な板厚に対するプラスアルファ)を付加した板厚で建造します。そして、定期検査時に板厚計測を行い、腐食の進行している鋼板は、適宜新しい鋼板に切り替える補修工事を行います。ちなみに、皆さん「日本丸」の外板の板厚はどれくらいか知っていますか？最近の測定結果では、11~15mmとなっていま

す。

上述の説明からお分かりのように日本丸のような保存船の耐久性で問題になるのは、疲労ではありません、なぜなら波浪中を航行するわけではありませんので。神奈川県内の保存船は「日本丸」以外にも「氷川丸」(横浜山下公園前、写真3)、記念艦「三笠」(横須賀三笠公園、写真4)、展示「工作船」(横浜赤レンガ倉庫地区、写真5)が有りますが、記念艦「三笠」は、地盤固定、「北朝鮮工作船」は小型船のため屋内保存であり、海水腐食による衰耗が懸念される保存船は「氷川丸」と「日本丸」です。「日本丸」については、昨年度から腐食などの特別点検が始まったところで、来年の進水85周年はもちろん、きっと今の美しい姿を100周年でも見せてくれるものと期待しています。



写真3 係留保存船「氷川丸」



写真4 記念艦「三笠」(地盤固定保存)



写真5 海上保安庁資料館内展示「工作船」

おわりに

「海の日」に寄せて「日本丸」の歴史や保存船について述べました。今年は、私の担当で以下のような海に関する特別講演、面接授業を始めますので、ご興味のある方は、ぜひご参加下さい。

特別講演

演題:海上交通の安全と環境保全 -技術の視点から-
日時:2014年9月13日(土)13:00~15:00
場所:神奈川学習センター第8講義室

面接授業

授業科目名:海事産業と神奈川
授業日:2014年10月24日3-4時限、25日1-2時限、11月1日1-4時限
第1回 海運における都市横浜の役割
第2回 東京湾の海上交通とその安全
第3回 海難そして海洋環境の保全
第4回 造船と神奈川
第5回 造船技術のいろいろ:客船、LNG船、コンテナ船、海底掘削船
第6回 歴史的産業遺産、海事産業の現状と将来展望
第7回 海事博物館の役割について(学外授業:横浜みなと博物館にて)
第8回 保存船について(学外授業:横浜みなと博物館にて)

面接授業「イメージを用いた心理療法」

受講生 鈴木 祥子

5月31日～6月1日小野けい子放送大学教授による面接授業「イメージを用いた心理療法」が開講されました。

欠席者が無く、定員110人の第3講義室が満席となり、静かな熱気と一体感が、講義室に満ちていました。

授業時間の多くを、実習と質疑応答にあて、小野教授は、受講生のさまざまな質問に丁寧に答えていました。

概論の講義のほか、バウムテスト、風景構成法、MSSM法の講義と実習、夢分析と箱庭療法の講義が行われました。
(編集部)

現在、選科履修生として学習を進める傍らで他大学の心理学部4年生に在籍しており、そちらの大学において卒業論文の執筆段階に入っています。私の扱う研究

テーマは、「Squiggle・Gameを用いた自己の自尊感情の変容とそれに伴う相手に対する印象の変化」であり、ウィニコットのスクイグル法の発展技法であるMSSM法(相互スクリブル物語統合法)の実習があるとのことで、卒業論文に必要なヒントや手がかりが少しでも得られればと考え、今回の面接授業に参加することを決めました。

シラバスに書かれていた通り、放送授業では体験できない実習中心の授業であり、MSSM法のほかに、バウムテストや風景構成法を実際に体験することができました。これまでも何度か体験したことがあるため、私の中では「何度やっても同じ絵しか描けない」と考えていましたが、実際の臨床場面では、「クライアントの絵はどんどん変わっていく」というお話に、今回面接授業に参加した私たちのような精



小野 けい子 教授



質疑応答の風景

神的に健康な者と問題を抱えたクライアントとの違いに気づくことができました。また、「心理療法における描画法は、誰に向かって描いているのかが意味があり、それがわからないような絵は描かせてはいけない」という講師の小野先生の言葉は、クライアントは言葉にならない想いを”絵”という媒体にメッセージを乗せて発信していること、また、それを受け取る側の態度として、受容的な姿勢で真摯に向き合うことの大切さを痛感させられた一言であり、心理職を志す私にとって忘れてはいならない言葉として刻みつけられた想いがします。

放送大学の面接授業に初めて参加をしてみて、どの学生も遅刻をすることも授業中の私語をすることもなく、講師の言葉を聞き漏らさないようにメモを取る姿や、休み時間になっても講師のもとに質問に行く学生の姿は、勉学に勤しむ本来の姿ではあるものの、とても新鮮に感じました。日ごろ若い学生に囲まれて授業を受けていると、教室にいるすべての人間が集中することは、なかなか起こりえない授業風景だからです。

講師の小野先生には、面接授業では扱わないにも関わらず、個人的な質問として研究テーマであるスクイグル法についてもお答え頂けたことにも、とても感謝しています。2日間の面接授業のすべてが充実していたと、授業を振り返って実感しています。

(鈴木さんは、東京足立学習センター所属です。)



風景構成法の実習



MSSM法によって描かれた作品と発表

面接授業「発酵文化の知恵－食生活と微生物」 受講生 横田 一富美



川松 正孝 講師

この面接授業の申し込みは、何度となく事務室にお尋ねして決めました。本当は、心理学の授業にも興味があり、「発酵」とどちらを取るか迷いましたが、「発酵」の講義を受けることができてたいへんよかったですと思っています。

私にとって、今回が初めての面接授業でした。内心大学での講義はたいへんなんだろうなあ・・・私について行けるのかと不安一杯で、第1回目の授業に臨んだのでした。いざ授業が始まってみると、川松先生の冗談を交えてどンドン進む講義に、緊張もほぐれ、楽しさに時間を忘れて授業を受ける事ができました。とても感謝しています。そして各回の講義が終わると、私も含め必ず皆の笑顔と拍手が沸いて、私の不安はなくなっていました。この感動の講義は一生忘れない事だと思います。

それからもう一つ私の心に響いたのは「台所は実験室であり研究室でもある」と言うことでした。此の事は、私たちの日常生活の過ごし方も言い換えると同じだと思います。何でも自分の工夫次第で良い結果、悪い結果が現れ、その差が大きな違いとなってく。



これから勉強するにあたって大きな問題に躓きくじけそうになることもあると思いますが、そのとき第1回目の川松先生の拍手に沸いた笑顔

の授業を思い出し、めげずに歩いて行こうと思っています。

今回は、皆様のお陰でより良い思い出の一ページがくれた事を感謝いたします。有り難うございま

た。

【授業の概要】

5月17日、24日、31日、6月7日の4週にわたって、川松正孝 講師の面接授業「発酵文化の知恵－食生活と微生物」が開講された。川松講師は、大学院修了



甘酒の試飲

後、国税庁醸造試験所で酒類の醸造の研究を行っていた経歴を持ち、学習センター近隣、弘明寺商店街の川松屋商店の経営している。神奈川学習センターで講師をつとめるほか、お酒や発酵文化に関する講演を行ったり、各種メディアで取り上げられる商店街の名物店主でもある。

初日の講義では、講義全体の概説、発酵や発酵食品とは、何であるか？どのようなものがあるか？麴や酵母、乳酸菌の働きなどお話があった。

2日目は、甘酒の試飲から始まった。飲む点滴と言われる(本来の製法の甘酒で、アルコール分は全く含まれていません。)甘酒を飲んで、そのいくつもの味が含まれる、発酵食品特有の微妙な味わいと味わいを作り出す発酵に対する理解を深めてゆく授業だった。

3日目からは、お酒の話へと進み、最終日、日本酒から焼酎、ワイン、いろいろなお酒の話。日本で最初に飲まれたのは葡萄酒だったなど、お酒にまつわるさまざまな話、そして、お酒の飲み方など、発酵とお酒の話には面接授業の8コマでも足りないくらいであった。

(編集部)



面接授業「生涯学習と参加型学習」

2013年11月30日～12月1日、秦野玲子講師による面接授業「生涯学習と参加型学習」が開講されました。

挨拶と授業目的の話のあと、受講生に白紙の名札が配られ「こうやって呼ばれたら、いごちがよいという呼ばれ方。」で名札を書いてくださいとのこと。

さん付けだったり、ちゃん付けだったり、ニックネームだったり人それぞれの名札ができた。

名札を付けて、アイスブレイクにうつる。初対面の人が集まったときに、その場の緊張感を和らげてコミュニケーションを取りやすくするための、簡単なゲームなどをするアイスブレイクだが、本講座では、“講師との後出しじゃんけん”から始まり、“輪になってボールをまわす”“輪になった、隣の人以外に、アイコンタクトのあとボールを渡しながらか質問する”“会話せず身振りなどで誕生日順に並ぶバースデライン”といういろいろな、手法を見せてくれた。

気持ちが打ち解けたところで、数人ずつに分かれて、グループワークになった。はじめに、自分の身につけているもの一品使って自己紹介した。先生の例「秦野玲子です。これは、息子が私に買ってくれたもので、仕事の道具が入ります。印鑑、常備薬、合図の鈴、ストップウォッチ。お仕事に行くとき持ち歩き、便利に使っています。」

次に、1人に3枚ずつカードを配って、先ほどのアイスブレイクについて、「どういう意味があると思うか？」意見を書いてもらう。カード分類法(カードトーク)という、アイデアをたくさん出すための技法(ブレインストーミングの応用)の練習だった。

そして、グループで話し合っ、皆に共通するところを見つけてもらったり、「冬山での遭難時の課題解決」に取り組んだりした。

1日目の終わりは、ダイヤモンドランキンング体験。9の事柄(選択肢)に、順番を付けるが、1



秦野 玲子 講師

番1つ、2番2つ、3番3つ、4番2つ、5番1つを選んでもらうもの、ダイヤ型に順位が並ぶので、その名前がついている。

課題は、「お互いを大切にしようコミュニケーションのあり方」はじめに、一人一人、ランキングを付ける。選んだ理由も書いてみる。

次に、グループで1つの順位を話し合って決める。

話し合いでは、次のルールを守るようにとのこと、

- ・多数決で決めない
- ・自分の考えにこだわる
- ・特定の司会を決めない
- ・お互いの意見や気持ちを尊重する

結果を、各グループで発表して、一日目終了。

2日目、先生の講義のあと、今度は、グループに分かれて、ダイヤモンドラン

キンング(の課題)を作る。

そして、午後、選ばれたグループが運営者となって、作成したダイヤモンドランキンングの課題を、各グループに実施してもらい。各グループは、課題、運営に対しての評価を行った。

講師の指導によって、まず、グループワーク参加者の立場で参加してみる。そこでの気づくことを、みんなから集め、意見を交換して、グループの新たな気づきに結びつける。それから、グループワークの手法を少しずつ理解してきた受講者に、今度は、実際にグループワークの教材を作っ

てもらい。その教材を使って実際のグループワークを行い検証する。

参加型学習を行うには、どんな方法があるか・・・授業の中で行われる、グループワークを通して、そのいろいろな技法を学ぶと同時に、元となっている考え方を自らの体験の中から発見してもらう。

人に教えたり講座を運営する立場の人の実践的な内容であると同時に、グループの中から、アイデアや意見出し合ってゆく、楽しさや技法を垣間見ることが出来る多くの学生にとって有意義な授業と思った。

※この授業は、今年度は開講されていません。



杉田正樹客員教授講演会「哲学は面白い！」

6月7日(土)、杉田正樹
神奈川学習センター客員
教授・関東学院大学教授、
の公開講演会「哲学は面
白い」が、開催されました。

ある授業で、外に出て好
きな木を1本選んで30分眺
めてもらい、帰ってきたあと
「木において本当は何を見
ていたのか？」質問をし

た。そのとき、真剣に考え
ている学生の表情がよかった。考えるとき人はいい
顔をしている。という話から始まりました。

講演は、哲学のおもしろさについて、①目からウ
ロコが落ちる経験、②知る喜び、③考える楽しさ、
④高いところ、遠くからものを見る快感、⑤常識を
疑う、⑥分かっているつもりが実は分かっていない
ことに気づく、専門のモンテニュの哲学観の話



杉田 正樹 客員教授

へすすみ、哲学は
陽気で楽しいもの
である。また、子供にも
教えるべきものであ
るとい、お話をされ
ました。



杉田教授は、小学生に哲学のお話をする機会も
あり、好奇心を持って問いかける、考えが柔軟であ
ることは大切。また、子供の哲学はライブであると
のことでした。

会場には、講演を楽しみにされていた学生が多
く、休憩時間に紙に質問を書いて提出して、質疑
応答が行われました
が、さまざまなタイ
プの質問が多数寄
せられ時間一杯まで
質疑応答が続きまし
た。(編集部)



○平成26年度神奈川学習センター 「学生研修旅行」について

研修テーマ: 千葉の自然と鉄生産

日時: 平成26年10月8日(水)8:30~17:50

【雨天決行】

横浜駅西口天理ビル前 8:20集合、17:50解
散(予定)

研修場所:

①千葉市中央区 千葉県立中央博物館

②千葉市中央区 JFEスチール株式会社

募集人数: 33名(応募者多数の場合は抽選)

申込受付: 7月25日(金)~8月3日(日)(閉所
日を除く)神奈川学習センター窓口にて(窓口
以外での受付はできません。)

参加費: 当選者は8月14日(木)~8月28日
(木)(閉所日を除く)に参加費をお支払いくださ
い。金額は、最大1,470円(入館料・旅行保険
料・昼食代(税込み))

【職員の異動】 2014年7月1日付け

新任 総務係長	宮崎 克典	横浜国立大学 学務・国際部より
------------	-------	--------------------

退任 総務係長	石塚 広明	横浜国立大学 研究推進部へ
------------	-------	------------------

OUJ神奈川学習センターだより編集部

赤松、家田、伊藤、入江、遠田、笠井、吉川、木下、
宮崎、三国、和田

(50音順、以上、K-サポート機関紙編集チーム)

垣谷(K-サポート事務局)

石塚(学習センター事務局)

カット絵は、よーこさんの作品です。

Kーサポートからのお知らせ

○学習相談チーム

Kーサポートの学習相談、2014年度第2学期は、10月18日から12月21日までの土曜日と日曜日、午後1時から午後3時50分の間、2階談話室の相談コーナーで行います。予約は不要です。

放送大学での学習に関して困っている点に限らせていただきますが、まずは気軽に何でも相談にきてください。また、11月下旬に提出する「通信指導」についても、助言や指導いたします。

○パソコンサポートチーム

インターネットを利用できなかった新入生中心に4月から20名(延べ47名)の受講生に「通信指導提出」程度の操作ができるまで支援してきました。以下の感想等も聞かれ、成果を出しつつあります。

・先生の講義と、ほぼマンツーマンの手厚いサポートのおかげで、パソコンに触れたことがない70歳代の私も通信指導の提出や過去の試験問題が見られるようになりました。

・誤操作をしたらパソコンが壊れてしまいそうで怖かったですが、その様なことはなく安心して使用できました。感謝します。

・まだ操作不慣れもありますので継続的なサポートをお願いします。

今後も、ネット利用ができない受講者にむけて次の講座、相談を予定しています。新入生、在學生、前期の受講者、「学習相談」利用の方等気楽に活用してください。

①科目の登録(面接授業の科目登録含む)の「講義・相談窓口」・・・8月17日(日)

個別相談・・・8月24日(日)、8月31日(日)実施。

②「コンピュータの体験」「ホームページの利用」の「講義・相談窓口」を10月に3回実施。

③通信指導提出の「講義・相談窓口」を11月に2回実施。

④科目登録(面接授業の科目登録含む)の「講義・相談窓口」、個別サポートを平成27年2月に実施。

※②～④の日程は、10月4日に発表予定です。

<p>◎実施日 2014年10月25日(土)</p> <p>◎集合時間 9:30~10:00</p> <p>◎集合場所 鎌沢市 片瀬海岸 東浜</p> <p>◎申込期間 9月1日(月)~10月10日(金)</p> <p>◎申込方法 【先着60名】 http://wak.yumesora.net から申込フォームに入力 (放送大学神奈川学習センター1Fからリンクあり) 【神奈川学習センターウォーキング】で検索</p> <p>FAX 050-7506-3681 に裏面申込書をお送りください</p> <p>◎お問い合わせ (担当 タシロ) メール wakingsoc@gmail.com 電話 070-6867-8383</p>	<p>◎所要時間 約6時間(10:00~18:00)</p> <p>◎コース (約7.0km) ★トビイロ町 東浜★(スタート)→磯の崎★→漁港の1階談話室★(昼食)→稲村ヶ崎★→七郎ヶ島岬★→片瀬からウォーキング(ゴール)→(江戸屋「唐吉訶」にて解散)</p> <p>◎集合場所詳細 ①鎌沢(片瀬工場の横)、江戸屋「江戸橋」、モリヘル「磯の崎の横」、各所に案内が立ちます。</p> <p>◎費用1200円(保険・保険代、昼食除く)別途申し込みの必要はありません。</p> <p>◎参加日の都合:50分間の早朝出発で、早朝の集合にはご注意ください(10月1日(土)に延期します)。</p>
--	--

研究会等のご案内

○OKSCいきものがかり

(石橋正彦麻布大学名誉教授主宰の研究会)

生物と生物を取り巻く環境について楽しみながら学ぶ会で、現在22名会員がいます。昨年は探鳥会6回、磯の観察会2回、国立科学博物館見学2回、ねずみに関する勉強会1回等を実施しました。

先月(6月)の27日から5日間、栃木県の馬頭に行ってきました。ゲンジホテルをかなり沢山見ることができました。

今年度も、ほぼ昨年同様の内容ですが、さらに充実してやっていきたいと考えています。関心のある方は、下記までご照会ください。

お問い合わせ: 石橋正彦(代表)

masahikoishibashi@yahoo.co.jp

学生サークルからのお知らせ

○うえるかむKanagawa

私達は楽しく英語を学んでいるサークルです。
 ☆例会:毎月第2、第4水曜日(試験月等は変更あり)
 午前:Benny class (カナダ出身の先生 3クラス)
 午後:English songs & Group study (4グループ)
 ☆8月～10月の予定
 *8月6日 Benny class 午後 暑気払い
 *8月27日 Benny class 午後“うえるかむ名画座”
 *9月6日 フェスタ・ヨコハマ (大岡寄席担当)
 *9月7日 フェスタ・ヨコハマ (コーヒーショップ担当)
 *9月30日 横浜港国際交流クルーズに参加
 ☆HP: <http://welcome-kanagawa.jimdo.com/>
 問合せ:星 礼子 045-844-9647

○韓国語同好会

月例会 第1、第3土曜日(ただし、8月、9月は学校行事のため第2、第4に変更)
 ①10:00～11:00 初級者
 ②11:00～11:20 ミーティング(全員)
 ③11:20～13:20 中級者
 ④14:00～15:00 自主学習(「韓国・朝鮮の歴史」ビデオ学習)
 ★講師 横浜国大客員研究員 金蘭美先生
 ★7月12日、韓国研修旅行の報告会実施。池田センター長はじめ多数参加。
 ★8月中旬、韓国放送通信大学の学生来日、交流会実施の予定。
 ★ホームページ <http://www.hangugo-club.org>
 ★問い合わせ 上記ホームページの問い合わせ欄からどうぞ。(代表:斎藤)

○放大かながわレク・サークル

★パソコン部:個人のニーズに応じた学習。
 学習日時:第2、第4木曜日 13時30分～15時30分。
 場所:神奈川学習センター 実習室:申込制
 ★ウォーキング部:2ヶ月に1回、「東海道五十三次」実施中。名所旧跡文化 施設等も対象
 ★その他観劇、観光、映画、美術鑑賞等。
 上記の各種活動はいずれも自由参加。
 一会員募集中(随時申込・受付)一
 問合せ:島田 義治 Tel 090-3907-8384
 E-mail simada.yosiharu@coral.plala.or.jp

○人間学研究会

1. 例会
 - ・8月9日(土)非公開
 - ・10月4日(土)テーマ未定

問い合わせ先 松本清康

アドレス:nngnknmtsmt@jcom.home.ne.jp

○神奈川合唱団

楽しく一緒に唱いましょう。

今年も、3月21日の学位記授与式にNHKホールにて学歌を唱いました。発声法に特に力を入れた指導を受けています。「ふるさと」「もみじ」などの歌を唱っています。気軽に見学においで下さい。

場所 大岡地区センター(神奈川学習センターの向い側)

第1、第3水曜日 午後6時～8時30分

連絡先 家田 0466-34-7545

赤松 044-288-0655

○神奈川放友会

私達は、「学び」と「触れ合い」を柱に幅広く・常に新しい何かを求め活動しています

☆例会(公開):8月10日(日)、場所:学習センター第7講義室 第一部:元全日空機長による講演会、空の安全に纏わる興味深いお話を聞けます

第二部:学習情報交換会。“この科目でこんな学を得た”との学習報告交換の場であり、発表・意見交換をする事で一学期の学習に深みがかかります。

☆一泊研修旅行:9月12日～13日(土)

JFE東日本製鉄所千葉地区工場見学、放送大学本部での会員研究発表、国立歴史民俗博物館見学、成田山新勝寺参拝等今年も密度の濃い研修旅行を計画しています。

☆毎月の活動:俳句の会、書に遊ぶ会、女性の会他 詳しくはWebで、<http://kanagawa-hoyukai.jp>

入会申込・問い合わせ先:

山崎正之 info@kanagawa-hoyukai.jp

○ダンスサークル (社交ダンス)

レッスン日 毎月第2火曜日と第4火曜日
 時間 午後2時～4時
 費用 年会費 入会時に1000円(以後毎年4月に1000円一回のみ)レッスン料 月1500円
 場所 第7講義室
 その他 全科履修生は30時間の習得で体育実技1単位を取得できます。

基本的なステップの組み合わせで楽しく踊る！を目標にしています。ダンスを始めてみましょう！！きっと新しい世界がひらけます。

9月6日フェスタ・ダンスパーティを開きます。昨年とは少し趣を変えて、今年は私たち会員が会場の皆様と一緒に踊ります。さあ！一緒にダンスを楽しみましょう。

お問い合わせ Tel 045-933-9753 (宮川)

○中国語学習会

古の昔から、日本語との関係が深く、4000年の歴史がある中国語を学んでみませんか。二人の中国人先生の丁寧な指導のもと、中国語を楽しく、和気あいあいと学んでいます。

学習日には、どうぞ見学してください。

☆学習日：第一、第三日曜日
 ☆学習時間：10時～12時 中級(告旭平老師)
 教科書：「本気で学ぶ中国語」

13時～15時 初級(唐斌老師)教科書：「中国語会話301初級」
 入門者、初心者向けに、発音からの入門コースを適時開催します。
 問い合わせ：大橋 義暢 (オオハシ ヨシノブ)
 Mail:y.ohashi1214@ezweb.ne.jp
 TEL:080-5406-0084

○資格取得研究会

看護・福祉分野を中心にキャリアアップや進学・就職を目指す集まりです。現在、大学卒を目指す看護師の方、看護、医療関係、福祉関係のキャリアアップと認定心理士を取られる方などで構成されています。内容は例会(情報交換)と講演会の聴講、見学会など。

これからの例会予定
 ・8月、9月例会日程、講義室未定。
 ・10月4日(土)15:30～(予定、会場未定)
 会費：¥500(1年間)
 ホームページ…<http://shikaku.yumesora.net>
 お問い合わせ…080-5546-7913(はこぎき)

神奈川同窓会だより

- ☆「同窓会連合会会長」就任のお知らせ
 2014年6月から神奈川同窓会会長は「同窓会連合会会長」を兼任いたします。
 (全国に49学習センターがあります)
- ☆ ホームカミングデーの開催
 9月6日(土)フェスタの初日(9/6は無料)OBの方気楽に来場して下さい。
- ☆ 弘明寺サロン「映画鑑賞会」8月16日(土)14:00～16:30「グレンミラー物語」
- ☆ 10月サロンおよび企画行事(10月15日) 前回荒天中止のリセット「日本民家園」
 HP:→http://www.geocities.jp/hatoh_net/
 お問い合わせ…045-333-4426 金田 保男

神奈川学習センター祭のお知らせ

神奈川学習センター設立30周年記念
第28回 フェスタ・ヨコハマ
 <放送大学神奈川学習センター学園祭>
 2014年9月6日(土)～9月7日(日)

『出会い・触れ合い・学び合い』

初日：9月6日(土)は、10:00～16:00「映画鑑賞会」「大岡政談」「ダンスパーティー」などのイベントが盛りだくさん。また、両日とも学生等の作品展示を行います。詳細はちらしをご覧ください。

2日目：9月7日(日) 10:00～12:00
 記念講演会：来生 新 放送大学副学長

演題：「沿岸域の総合的管理と横浜」
 第二次海洋基本計画でも、沿岸域の総合的管理の推進がうたわれている。本講演では「沿岸域の総合的管理」とはどのような管理なのか、その意味を掘り出し、いくつかの先例を紹介し、横浜において横浜のまちづくりに沿岸域の総合的管理の手法がどのように生かされるかを解説する。

講師プロフィール
 1947年7月22日生まれ。67歳。
 1975年 北海道大学法学部研究科博士課程単位取得退学。同年横浜国立大学助教授(経済学部)。専門は経済法、行政法。最近の主たる研究領域は海洋の管理法制。その後、同大学経済学部教授、国際社会科学部教授、国際観光研究科研究科長、国際社会科学部研究科研究科長、副学長理事を経て、2009年3月退職。
 2009年5月 放送大学教授
 2010年5月 同大学副学長
 2014年4月 同大学副学長・理事

現在の主要な海洋関係の公職
 水産政策審議委員会委員
 海洋再生エネルギー利用促進委員会 利用促進検討委員会委員
 海洋政策研究知財部員、財団法人国際海洋開発研究センター理事
 海洋産業研究会顧問、東京海洋市民連携フォーラム議長
 横浜水辺のまちづくり協議会会長、海洋基本法検討協議会委員

引き続き
12:30～15:30 親睦交歓パーティー(立食パーティー)
 茶席、各サークル出店、俳句・川柳大会、大抽選会

参加券：1,000円 * 9月7日行事の参加には「参加券」が必要です。
 当日券の用意はありません。事前にお求め下さい。
 入手方法：①神奈川学習センター1階ロビーにて次の日程で頒布します。
 (センター休館日を除く)
 7月26日(金)・7月26日(土) 9:45～17:00
 7月27日(日)～8月 3日(日) 9:30～19:00
 ※下記の参加団体にて取り扱っています。

参加団体：うまのち神奈川、神奈川親友会、横浜同好会、資格取得研究会、中国語学習会、人権学習会、放送大学神奈川合同団、放送大学ダンスサークル、放送大学がわらわサークル、KSGI(若も)がわり、神奈川同窓会
 主催：放送大学神奈川サークル協議会 後援：放送大学神奈川学習センター
 問い合わせ：0463-92-8037(神奈川サークル協議会事務局) 高橋 紀夫
 080-5546-7913(広報部) 豊崎 博之

学習センターからのお知らせ

◆ 学生募集について ◆

学ぶ喜びをより多くの方々に知っていただきたいと思い皆様のご家族・ご友人・知人に放送大学の魅力や利用方法をご紹介下さるようお願いいたします。

【平成26年度第2学期入学(10月入学)の教養学部生、大学院修士選科・科目生】

募集要項配布期間:6月15日(日)～8月31日(日)

出願受付期間 :6月15日(日)～8月31日(日)

※教養学部:今学期に学籍があり、継続して入学される方で、面接授業科目登録の申請を行う方は、学生募集要項P26・P27を必ずご確認ください。

【平成26年度第1学期入学(4月入学)の大学院修士全科生】

募集要項配布期間:6月15日(日)～8月31日(日)

出願受付期間 :8月15日(金)～8月31日(日)

◆ 客員教授公開講演会について ◆

平成26年9月13日(土) 13:00 ～ 15:00

「海上交通の安全と環境保全ー技術の視点からー」

講師:角 洋一(神奈川学習センター客員教授・横浜国立大学名誉教授)

お申し込み:045-710-1910

～皆様の多数の参加をお待ちしています～

◆ 科目登録申請について ◆

平成26年度第2学期の科目登録申請は下記のとおりです。登録を忘れないようご注意ください！！

申請期間:平成26年8月15日(金)～平成26年8月30日(土)必着

対象学生:平成26年度第2学期に引続き学籍がある方

注意事項:◎在学生の次学期の科目登録(放送授業及び面接授業)申請です。

入学(出願)手続きとは申請期間が異なります。

◎インターネットでの科目登録も可能です。詳細は、「科目申請要項」をご確認下さい。

◆ 特別聴講学生募集について ◆

放送大学(神奈川学習センター)では、横浜国立大学と放送大学とが相互に単位を互換する協定を結び、双方向による単位互換を実施します。

これにより、放送大学の学生(全科履修生)は、単位互換協定を締結している横浜国立大学の授業科目を履修することができ、修得した単位は、放送大学の単位として認定されます。

平成26年度2学期(後期)の募集については神奈川学習センター掲示板・ホームページをご覧ください。

1. 出願資格 ①全科履修生

②本学の在学年度が1年以上の者

③放送授業科目において30単位以上を修得した者
(出願先「横浜国立大学」へ通学が可能である者。)

2. 出願のための履修相談先:神奈川学習センター事務室窓口

